

● 広報

おくび



2011

5

NO.679



～ ピッカピカの1年生 ～

入学式を終え、教室で初めて教科書を手にする小国小学校の新1年生。新しい生活への期待と不安に小さな胸を大きくふくらませ、その第一歩を踏み出しました。

人々の生活の場と尊い命を奪った東日本大震災

復興に向け深まる絆と 広がる支援

きずな
がんばろう日本
がんばろう東北!

平成23年3月11日、マグニチュード9.0の巨大地震が発生し、激震と大津波が東日本を襲いました。4月26日現在、1万4,435人が犠牲者となり、いまだに1万1,601人が行方不明となるなど、我が国の災害史上でも極めて大きな地震となりました。町として、さらに町民皆さんがこの震災を受け止め、被災地や、避難されてきたかたへ支援されているか。そして、減災にどのように取り組んでいく必要があるのか。この震災を機にシリーズで考えていきます。

福島県相馬市の被害状況 平成23年3月30日現在

多くの尊い命、
生活の場を奪った
未曾有の災害

平成23年3月11日午後2時46分、宮城県三陸沖を震源とする国内観測史上最大のマグニチュード9.0の巨大地震が発生し、東北太平洋側を中心に広範囲で強い揺れが感じられました。

地震発生直後から停電となったほか、ガス、水道などのライフラインが寸断されました。さらに、岩手県や宮城県、福島県などの太平洋側沿岸部には、高さ10メートルを超える大津波が押し寄せ、人々の生活の場を破壊し、多くの尊い命を奪いました。さらに、福島第一原子力発電所施設をも飲み込み、これに伴って、多くのかたがたが避難生活を強いられています。

小国町では、地震によって震度4・1を記録した直後に、町長を本部長とする災害（震災）対策本部を設置し、関係機関等と連絡を取り合い、被害状況の確認を行いました。町内では、この地



避難所から元気に通学する児童

表1 避難所の状況（4月26日現在）

旧小玉川小中学校への避難者	9 世帯	29人
町内の宿泊施設への二次避難者	6 世帯	29人
アスネット	4 世帯	22人
松風館	2 世帯	7 人
町内の一般住宅等への避難者	5 世帯	12人
避難者	計	20世帯 70人

震による被害はありませんでしたが、太平洋側の石油精製施設の火災や、道路の損壊などを要因とする物流の停滞が影響し、物資の供給不足が起きました。供給が平常に戻るまでの間、ガソリンスタンドの前には、燃料を求める町内外からの車が長蛇の列をつくりました。このほかにも、防災用品や保存できる食品が店頭で品薄になるなど、大震災は町民生活にも影響を及ぼしました。また、津波による家屋の倒壊や、福島第一原子力発電所の事故の影響により、被災地から100人を超えるかたがたが本町に避難されました。

小国町における 避難所の状況

本町では、旧小玉川小中学校、旧玉川小中学校、旧伊佐領小学校を避難所として設置し、避難者を受け入れることとしました。3月15日に旧小玉川小中学校に18人のかたが最初に避難されましたが、その開設から運営に至るまで、避難所周辺をはじめ町内各地

の皆さんから協力をいただいています。町内の若者グループは町内各家庭に協力いただいて、避難者が使用する寝具を集め、運び入れてくれました。また、日々の運営にあたって、食事や衣類の提供、音楽会や子どもたちへの読み聞かせなど、たくさんの個人・団体からさまざまな支援をいただいています。

小玉川地区自然教育圏整備促進協議会の本間利博さん（小玉川）は、毎朝、旧小玉川小中学校に足を運び、施設の点検などを行いながら、避難者に声をかけ励ましています。



本間利博さん（小玉川）

本間さんは、「初めのうちは、不安そうにしているかたも多かったのですが、今は落ち着いてきているようで、笑



地域のかたと避難者が一緒にもちつき

顔もみられるようになりました。4月16日には、避難者のかたと一緒にもちつきを行い、地区住民と交流も深めました。避難者のみなさんが安心して生活を送られるよう、協力していきたいと思っています。」と話してくれました。

町が設置した避難所には、最も多いときで100人以上の避難者が入っていました。4月23日には、避難所から宿泊施設・旅館等への二次避難が行われ、避難所で生活している避難者は、旧小玉川小中学校の29人となりました。（表1のとおり）

被災地・避難者への支援

町では、この大震災によって大きな被害を受けた被災地に対して、さまざまな支援を行っています。国道113号の整備促進等で縁の深い福島県相馬市に、2回にわたって米や水、毛布などの支援物資等を届けました。また、まちづくりにおいて交流の深い長野県栄村や、宮城、岩手、福島の3県に対して、見舞金を送りました。

町内への避難者に対しては、食料の提供、温泉施設の入



福島県相馬市に支援物資を提供

浴料や町営バス使用料を無料にしているほか、区域外就学として小国小学校に通学している9人の児童に対して、その子どもたちの運動着や靴、給食費などを支援しています。また、旧小玉川小中学校から小国小学校への交通の足を確保し、小国町で元気に学べる環境を整えています。

町内の団体にも、被災地支援の動きがみられます。沼沢地区の自主防災組織（沼沢地区自主防災会）では、3月に1回、4月に2回、宮城県石巻市や女川町などを訪れ、避難所での支援活動に取り組んできました。

自主防災組織とは、「自分たちの家族や地域は自分たちで守る」という考えに基づいて、地域で自主的に防災活動を行う組織をいいます。

同会の大河原正敏事務局長（沼沢）は、報道をみて、被災地のために力になりたいと思う、地域で話し合いました。そして、自主防災会の有志でチームをつくり、被災地での支援活動を行う

小国の人の温かさを実感

福島県浪江町から避難
佐々木 隆 成（たかしげ）さん
寧 音（ねね）ちゃん



災害が起きて人々が避難する様子は、テレビで見たことはありましたが、まさか自分自身が体験することになるとは思ってもみませんでした。

避難してきてから、小国町の多くの皆さんが避難所を訪れ、食事を提供してくれたり、「必要なものはないですか?」と声をかけ、気遣ってくれました。

また、娘が小国小学校に通っていて「新しい友達ができたよ。」と教えてくれました。通学に関しても色々な面で支えてもらっていますし、地域のかたにも見守られていると感じます。

小国の皆さんの温かさ、やさしさが身に染みました。本当に心から感謝しています。

ことを決めました。

その後、自主防災会が主体となり、支援物資の確保を行いました。地域のかたがたなどに協力してもらい、子どもの衣類などの支援物資を集めたほか、現地で暖かい食べ物を提供できるよう、持参するガスコンロや食材の準備をして、支援活動にあたりました。また、4月に入ってから、炊き出し

のほかにも、現地の仮設風呂への照明の設置なども行ってきました。

このほかにも、町内の企業が被災地でがれきの撤去をボランティアで行うなどの取り組みも行われています。行政の連携による被災地支援においては、山形県職員や市町村職員で構成する県被災地広域支援隊による支援活動が始まっています。



被災地支援を通して

沼沢地区自主防災会
事務局長
大河原 正 敏さん(沼沢)

被災地では、人々が共に助け合い、支えあいながら困難を乗り越えようとしていました。

大きな災害においては、行政の支援が来るまでの間、そこに暮らす人々が協力し合い、しのいでいくしかないと思います。小国町でも、水害や土砂崩れは想定されるので、万が一の場合に備えて、自分たちにできることを考えていくことが必要だと感じています。

震災支援の経験は、自分たちの防災を考える契機にもなったと思います。



現地での支援活動(沼沢地区自主防災会提供)

支援隊は、岩手県の宮古市や山田町で避難所の物資管理や避難者のニーズ調査などにあたっており、小国町においても、5月に職員を1人派遣することとしています。また、小国町立病院の医師、薬剤師、看護師、事務員で構成する医療支援チームが宮城県気仙沼市で活動を行うことになっています。

被災地支援に向けた 小国ポイント会の 取り組み

町では、大震災の発生以来、町民の皆さんと共に避難者対応や被災地支援等に取り組んできていますが、その一方で、町内においては、震災以来、イベント等に対して、自粛ムードがあります。○カードを運営する共同組合小国ポイント会(舟山栄二代表)では、町内消費の回復と、被災地支援のための新たな取り組みを進めています。

これは、○カード会員が加盟店で買い物をした場合、その金額の0・1%を、東日本大震災の義援金にするもので、4月1日から運用が始まっています。○カード会員のポイントは、通常どおり付加されます。普段どおり飲食や買い物をするものが被災地の支援にもつながる仕組みです。

支えあいと 助け合いを

これまで体験したこと

なかった強い揺れと、巨大な津波。自然の脅威は、時に想定を超えて私たちの身に降りかかります。また、安全神話のもと私たちの便利な暮らしを支えるために全国に設置されてきた原子力発電所の事故は、まだ収束せず、広範囲に不安が残っています。

この度の大震災を通して、自分や家族、そして地域を守るため、人と人が助け合う重要さや、きずなを紡ぐ大切さを改めて確認する機会にもなったと思います。さらには、こうした災害を教訓としながら、いつ発生するかわからない災害に対する日ごろの備えと「防災意識の向上」など防災対策に努めていかなければなりません。

町では、引き続き、被災地や避難者への支援を行っていくとともに、「広報おぐに」の紙面でも、防災に関するシリーズで記事を掲載し、町民の皆さんと防災対策の重要性を確認していくこととしています。

シリーズ 小国町の国保 その1

国民健康保険の被保険者

国民健康保険事業（国保）の安定的な運営にあたっては、保険者（町）の取り組みとあわせて、被保険者（加入者）皆さんの国保に対するご理解とご協力が大切です。

そこで、今月号から国保のしくみや国保税などについて理解を深めていただくため、小国町の国保の課題や現状をシリーズで紹介していきます。

◆国民皆保険制度

日本では、病気やけがをした場合に、いつでも、どこでも、だれでも安心して医療を受けることができるように、全ての人が、職場の健康保険、共済組合、国保、後期高齢者医療制度などのいずれかの公的医療保険に必ず加入することになっています。これを「国民皆保険制度」といいます。

◆国保に加入する人

●国民皆保険制度の考え方から、職場の健康保険、後期高齢者医療制度で医療を

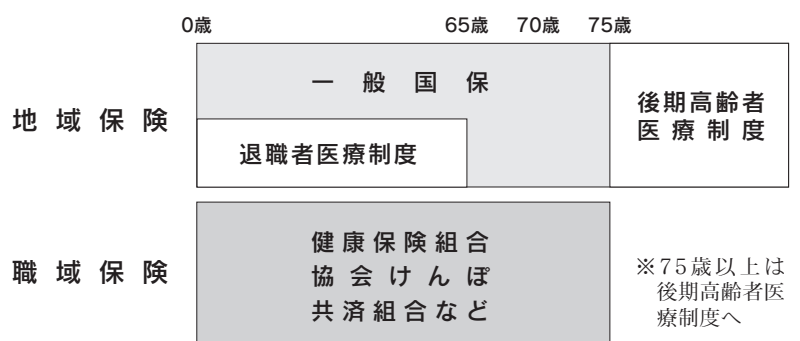
受けている人や生活保護を受けている人を除いたすべての人が国保に加入します。

●国保に加入している65歳未満の人で、会社や役所を退職して、年金（厚生年金など）を受けられる人とその被扶養者は、退職者医療制度で医療を受けます。

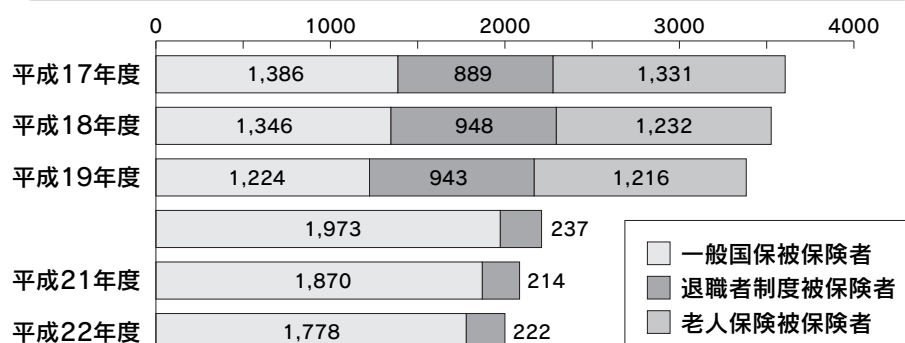
◆小国町の国保加入者の推移と特徴

小国町の国保加入者は、平成22年度末で2,000人となっており、毎年減少傾向にあり、5年前と比較すると、被保険者数で44・5%、

国民皆保険制度のイメージ



各年度末の国保被保険者内訳



占めています。また、退職者医療制度の加入率も高く、平成21年度末の県内市町村の比較では、どちらも一番高い割合となっています。この加入者の年齢構成が小国町の国保の大きな特徴です。



白沼地区を中心に活動
神田 やよいさん

緑のふるさと協力隊



南部地区を中心に活動
中島 萌さん



南部地区を中心に活動
栗本美紀さん

地域おこし協力隊



集落に新しい風

緑のふるさと協力隊、
地域おこし協力隊が着任

本年度、緑のふるさと協力隊として活動する神田やよいさん（東京都出身）、中島萌さん（大阪府出身）の2人が、4月12日、着任しました。

緑のふるさと協力隊は、特定非営利活動法人地球緑化センターが取り組むプログラムで、都市の若者を、一年間農山村に派遣し、その地域での様々な地域おこし活動に取り組んでいく役割を担うものです。

町では、この緑のふるさと協力隊の活動を通し、集落機能の維持保全のあり方を研究するとともに、地域の魅力と底力を改めて評価し、広く情報発信していくことなどを目的に、前年度に2名の隊員の受け入れを行い、主に南部地区で活動を展開しました。

本年度も引き続き2名の隊員の受け入れを行うこととし、1名は継続して南部地区で、さらに1名は新たに白沼地区を中心に活動することとしています。南部

地区で活動する隊員は、中島さん、白沼地区で活動する隊員は、神田さんで、それぞれの地区などを中心に、農作業補助や各地域の行事、イベントへの参加、交流施設運営のお手伝い、集落巡回などを行っています。

また、前年度、緑のふるさと協力隊隊員として活動した栗本美紀さん（大阪府出身）は、本年度から地域おこし協力隊として、引き続き小国町で活動することとなりました。地域おこし協力隊とは、地域の新たな担い手を外部から確保し、地域力の維持・強化を図ることを目指した総務省の地域づくり制度です。地方自治体が都市住民を受け入れ、地域おこし協力隊員として委嘱し、一定期間以上、地域おこしの支援などを行います。栗本さんは、これまでと同様、主に南部地区において地域の方々と関わりながら、主体的に地域での活動や支援を展開していくこととしています。

小国町議会議員選挙の結果

選良10人の顔ぶれ



遠藤和彦

(大宮・53歳・2回)



小関和好

(増岡・52歳・初当選)



高野健人

(北・62歳・4回)



本間義信

(北・57歳・6回)

※()内は、住所・年齢・当選回数



任期満了に伴う小国町議会議員選挙が、4月19日に告示され、4月24日に投票が行われました。

議員定数が、前回と比較し2名減の10名となった今回の選挙には、12名が立候補しました。

当日有権者数は、7400人、投票率は84・92%で、前回の87・79%より2・87ポイント低下しました。

開票は、町民総合体育館で即日の午後9時から行われ、その結果、投票総数は6284票、うち有効投票は6232票で、有効投票のうち、候補者ごとの得票数は左表のとおりです。

翌25日には、役場で当選証書付与式が行われ、当選者には、遠藤公選挙管理委員長から当選証書が手渡されました。



小林 嘉
こばやし よしみ

(湯花・64歳・2回)



安部 春美
あべ はるみ

(小股・63歳・4回)



伊藤 重広
いとう しげひろ

(河原角・62歳・5回)



米野 貞雄
よね のさだお

(大滝・73歳・7回)



齋藤 弥 輔
さいとう やすけ

(伊佐領・58歳・初当選)



今 正徳
こん まさのり

(小国小坂町・71歳・5回)

県議選の結果

小池克敏氏(白子沢) が当選

任期満了に伴う山形県
議会議員選挙が去る4月
1日に告示されました。

西置賜郡選挙区では、
現職の小池克敏氏以外に
立候補者がなく、小池克
敏氏の無投票当選が決定し、
平成19年4月の当選に続
いて、3度目の当選を果
たしました。

小国町議会議員選挙 候補者別得票数

当 選	小 遠	関 藤	和 和	好 彦	768票
"	伊 安	藤 部	重 春	広 美	744票
"	小 本	林 間		嘉 信	604票
"	高 今	野	義 健	人 徳	604票
"	齋 藤	藤 野	正 弥	輔 雄	517票
"	米 飯	野 沢	貞 テ	雄 ツ	493票
"	佐	藤	祐	一	454票
次 点					444票
					437票
					423票
					392票
					352票

交通事故防止に向けて

小国町の高齢者交通安全指導員と地域交通安全活動推進委員の委嘱書交付式が、4月5日、小国警察署で行われました。

高齢者交通安全指導員は、1年の任期で、高齢者宅を個別に訪問して交通安全指導を行い、交通安全意識の向上に取り組めます。

また、地域交通安全活動推進委員は、2年の任期で、適正な車両の駐車や道路の使用方法、自転車の通行などについて、住民の理解を深めるための活動を行います。委嘱されたかたがたは、次のとおりです。

■ 高齢者交通安全指導員

井上 正美さん（綱木箱口）

伊藤 満司さん（あけぼの）

山口 ^{しげこ} 子子さん（岩井沢）

■ 地域交通安全活動推進委員

平山 雄二さん（幸町） 三須 一郎さん（小国小坂町）

小笠原ミヨさん（北） 貝沼 文嘉さん（兵庫館）

鈴木 正昭さん（緑町）

～指導員・推進委員を委嘱～



委嘱書交付式

新入学園児・児童を守ろう

～交通事故防止強調旬間～

新入学園児・児童の交通事故防止に向けた啓発活動が、4月6日から15日までの間、小学校や保育園の前など町内各所で行われました。

4月12日、町中心部の各保育園前では、小国町交通安全母の会会員らが啓発品を手渡ししながら「お子さんを守るため、チャイルドシートを着用しましょう」と保護者に呼び掛けていました。



力を合わせて最高の一年に

～白沼小中学校入学式～

来年3月に閉校となる白沼小中学校の入学式が、4月7日、同校で行われ、小学校に3人、中学校に5人が入学しました。

入学式では、父母らが見守るなか、緊張した面持ちの新入生でしたが、在校生から「今年は最後の一年。楽しい思い出を作ていきましょう」と歓迎の言葉が贈られると、新たな学校生活への期待に目を輝かせていました。

異文化に触れ、交流深める

～小国高校短期留学～



町長に短期留学の成果を報告



ミッチェル高校での交流風景
前列中央が佐野聡美さん、右が伊藤葉さん

アメリカコロラド州のミッチェル高校に短期留学した小国高校3年の佐野聡美さん（種沢）と同校2年の伊藤葉さん（飯豊町小白川）が、役場を訪れ、小野精一町長に成果を報告しました。

2人は、3月26日から4月9日までの間、ホームステイをしながら、それぞれ現地の高校に通学し、授業を受けてきました。

短期留学を振り返り、佐野さんは、「現地の英語を聞き取れないこともありましたが、少しずつコミュニケーションがとれるようになり、地元の高校生と交流を深めることができました。この経験を生かして、将来は国際的な分野で活躍できるよう、これからも頑張っていきたいと思います」と話してくれました。

また、伊藤さんは、「ミッチェル高校での授業やホームステイを通じて、文化の違いを肌で感じました。また、短期留学を経験して、英語に対する関心が高まりました。卒業後は進学して、さらに英語を学び、またアメリカを訪れたいです」と話してくれました。

笑顔キラリ

Smile.01

鈴木義雅さん

DATA

●年齢/23歳 ●住まい/岩井沢 ●趣味/スノーボード、旅行



Suzuki
Yoshimasa

介護福祉士としてさいわい荘に勤務し3年目になります。これからは、高齢化が進み、介護や福祉という場面で、より一層、技術や質が求められるものと思います。笑顔を絶やさず、プロとして責任を自覚し、一生懸命頑張っていきたいです。

また、昨年から、介護や福祉に携わっている人たちが構成するグループ「白い森一座」に入っています。「白い森一座」では、身近な介護や福祉をテーマに、研修会などの場で寸劇を披露してきました。みなさんに楽しんでもらうと同時に、介護や福祉のことを理解していただくきっかけになればと思っています。

ご案内

町政懇談会を

開催します

各地域や団体のかたがたから身近な課題などをお聴きし、町づくりについて意見を交換する町政懇談会を開催します。

■対象団体

各地区の自治会、婦人会、老人会、スポーツ・文化団体などで、話し合いにより、交流と理解を深め、町づくりに積極的に参加する団体

■開始方法

①開始希望団体から、希望する日時、懇談会に提出するテーマなどを明記した申込書をいただき、日程などの調整を行ったうえで開催します。

②懇談会には、町長、副町長のほか、テーマに関係する担当課長などが出席します。

③会場の設定、進行は各団体にお願ひします。

■申込・問合せ先

総務企画課政策企画室へ

「町長と語る日」を

開催します

住民の皆さんと、さまざまな形で対話の機会を増やしていくため、町長と語る日を引き続き開催します。

■開催日

毎月の広報で、実施日をお知らせします。開催時間は、午前9時から午後4時までです。

※懇談時間は、一回につき45分間といたします。

■受付方法

原則として、予約制といたします。

■予約・問合せ先

総務企画課行政管理室へ

町文化振興基金

助成事業

■対象事業

7月から3月までに予定されている①音楽・演劇などの公演②団体・サークル活動発表③文化財保護活動④青少年健全育成活動

■内容

対象事業を実施する団体または個人に対して、総額三十万円以内で助成を行います。

■申請期限

5月27日(金)

■問合せ先

教育委員会事務局へ

6月1日は人権擁護の日 人権なんでも相談所

法務局・人権擁護委員協議会では、人権擁護委員の日に合わせて全国一斉「人権なんでも相談所」を開設します。相談は無料で秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

■日時 6月3日(金) 10:00～15:00

■場所 総合センター

■内容 夫婦・家族間のいざこざ、老人・子どもの虐待、遺産相続、いじめ問題、近所とのトラブルなど、どんなことでも相談に応じます。

■相談員 町人権擁護委員・法務局職員

■問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

小国町の人権擁護委員

宮崎 宏夫(町原) 鈴木 恵子(緑町三丁目)
伊藤 忠吾(玉川) 神保たえ子(小国小坂町)

国際森林年記念 ブナの森研修会

町内のブナ林を調査している先生や森林と深いかかわりのある活動を行っているかたを講師に招き、研修会を開催します。

■研修会 6月18日(土)
午後1時～午後4時40分
アスモ多目的ホール

■現地研修 6月19日(日)
午前8時20分～午後5時
白い郷土の森及び温身平
※役場集合・解散

■申込期限 6月3日(金)

■参加費 18日は無料(終了後の意見交換会は、一人1,000円)。
19日は一人1,500円。

■申込・問合せ先

産業振興課農林振興室または置賜森林管理署森林ふれあい係(62-2246)へ

今月の町長と語る日は5月25日(水)です。お気軽においでください。
皆さんの声をお寄せください。

町長室専用メール shiroimori@town.oguni.yamagata.jp

町長室専用FAX 0238 (62) 2611

6月の子育てカレンダー

■問合先 健康福祉課または子育て支援センターへ

- ◆対象となるかた
- あそびの広場、なかよし広場
入園前のお子さんと保護者
- タッチケア教室
歩行前のお子さんと保護者
- 両親学級
平成23年6月～9月に出産予定のかた
- 4カ月児健診
平成23年2月生まれ
- 1歳児健診
平成23年6月生まれ
- 1歳6カ月児健診
平成21年10月～12月生まれ
- ポリオ予防接種
平成22年5月～12月生まれ
- こども愛ランド
概ね2歳からのお子さんと保護者

会場・集合場所
◆健康管理センター
◇おくに保育園

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2 ◇なかよし広場 10:00～11:30	3	4
5	6 ◆タッチケア教室 10:00～11:30	7 ◆あそびの広場 10:00～11:30	8	9 ◆両親学級 13:30～16:00 ◇なかよし広場 10:00～11:30	10	11
12	13	14 ◆あそびの広場 「子育て講座・親子 歯科健康教室」 10:00～11:30	15	16 ◇なかよし広場 10:00～11:30	17 ◆1歳6カ月児健診 12:30～13:00	18 ◆こども愛ランド 「健康の森で 森林散策」 9:00～12:00
19	20	21 ◆あそびの広場 10:00～11:30	22 ◆ポリオ予防接種 13:00～13:30	23 ◇なかよし広場 10:00～11:30	24 ◆4カ月児健診 13:00～15:00 ◆1歳児健診 13:00～15:00	25
26	27	28 ◆あそびの広場 10:00～11:30	29	30 ◇なかよし広場 10:00～11:30	1	2

求人情報

右の表は、4月26日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町を主な就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますのでご了承ください。
※詳しいことは、ハローワーク長井（電話84-8609）へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
(株) 井上製作所	(請)製造工〔急募〕	1人	8:30～16:40、0:30～8:40、 16:30～0:40
小国開発(株)	現場監督補助	1人	8:00～17:00
(有)蔵王ストアー	レジ係(販売員)	1人	8:45～18:00
小国町観光協会	臨時雇用職員	1人	8:30～17:00
大河内産業(有)	ダンプ・重機運転士、一般事務員、砂利プラント運転士ほか	8人	8:00～17:00
伊藤建築 伊藤一郎	建築大工(見習い可)	1人	8:00～18:00
(株)太陽警備保障 長井営業所	警備	10人	8:00～17:00、20:00～5:00
合資会社山佐 佐藤農機店	営業・販売・整備工	1人	8:30～17:30
(株)横川建設	重車輛オペレーター、土木施工管理技士	4人	8:00～17:00
医療法人社団 緑愛会 満天の家	看護師・准看護師	2人	8:30～17:30
(株)船山工務店	土木施工管理技士(見習い可)	2人	8:00～17:00
第一ホール小国店 (有)コンズカンパニー	ホールスタッフ〔急募〕	2人	8:30～16:30、8:30～17:00、 13:30～23:00、15:00～23:00
酒味庵 まつばら	居酒屋店員(接客、他)	2人	17:00～21:00、18:00～22:00
(株)金十商店	生鮮作業業務・レジ事務全般	4人	9:30～12:30、16:00～20:00
KATEKYO学院 長井校	完全個別指導 家庭教師	10人	17:00～21:00、18:00～22:00、 19:00～21:00 又は10:00～22:00間2時間

今月の納税 2011.5

5月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

- 5月26日(木) 水道料
- 5月31日(火) 固定資産税(1期)、介護保険料、下水道料・簡易水道料、住宅使用料、保育料等

■問合先
町民税務課税政管理室へ

子ども手当では 引き続き支給されます



「子ども手当」は、平成23年4月～9月までの6ヶ月間、引き続き支給されることになりました。

■対象者 中学校修了前までの子ども(平成8年4月2日以降に生まれた子ども)を養育しているかた

■金額 子ども1人につき月額13,000円(所得制限なし)

■平成23年度分支払日
6月8日(水) 平成23年2月分～5月分
10月7日(金) 平成23年6月分～9月分

■申請・問合せ先 健康福祉課へ

公立置賜総合病院での 予防接種について

今年度より接種方法が次のとおり変更となりますのでご注意ください。

1. 三種混合、二種混合、麻しん単独、風しん単独、BCGの予防接種について、接種費用の一部自己負担が生じます。
2. 予防接種を受けるためには、町で交付する「予防接種券」を病院に提出する必要があります。

接種を希望する方には、自己負担額や予防接種券の交付について説明しますので、事前に健康福祉課までご連絡ください。

■申請・問合せ先 健康福祉課へ

各種相談

年金相談

- 日時 5月18日(水)
10:30～14:30
- 場所 役場町民相談室
- 対応者 日本年金機構
米沢年金事務所職員
- 問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

人権相談

- 日時 5月25日(水)
10:00～12:00
- 場所 総合センター
- 相談員 町人権擁護委員
- 問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

消費者相談会

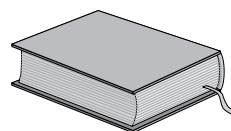
- 日時 5月28日(土)
10:00～15:00
- 場所 役場雇用相談室
- 対応者 司法書士 舟山健蔵氏
- 相談料 無料
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

無料法律相談

- 日時 6月3日(金)
10:00～15:00
- 場所 総合センター
- 対応者 町顧問弁護士
- その他 希望するかたは、5月27日(金)まで申し込んでください。
- 問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

総合センター図書室から

■休館日……毎週月曜・祝日



●新着図書

- ◆聖夜
- ◆チーズと塩と豆と
- ◆日本崩壊 回避のシナリオ
- ◆凍花
- ◆单身急増社会の衝撃
- ◆優しいおとな

佐藤多佳子
角田光代・他
藤中 章三
斉木 香津
藤森 克彦
桐野 夏生

- ◆歯科からの電磁波対策
携帯電話は体に悪いのか? 藤井 佳朗
- ◆テメレア戦記 1～3 ナオミ・ノヴィク
- ◆三人の書道王子と筆文字楽しもう
渡邊英貴・他
- ◆ゆきのひ 加古 里子



- 小国町役場 02-2111(代) 02-5464
- 行政管理室 02-2112 ●政策企画室 02-2264 ●住民窓口担当・町民生活担当 02-2260
- 国保医療担当 02-2261 ●税政管理室 02-2403 ●会計室 02-2406
- 農林振興室 02-2408 ●商工観光室 02-2416 ●建設管理室・水道管理室 02-2431
- 建設技術室 02-2432 ●議会事務局 02-2448

乳児の健康相談

町では、生後5ヵ月から11ヵ月のお子さんを対象に、乳児の健康相談を実施します。

4ヵ月健診の受診後から1歳児健診の受診までの期間に、お子さんの成長、発達の確認や育児に関する相談の機会としてぜひご利用ください。

■期 日 5月18日(水)、7月21日(木)
9月14日(水)、11月16日(水)
1月18日(水)、3月21日(水)

■時 間 10:00～11:30

■場 所 健康管理センター

■対 象 生後5ヵ月から11ヵ月のお子さん

■内 容 問診、身体計測、個別相談、栄養相談など

■持ち物 母子健康手帳

■その他 事前申込みは必要ありません。
お気軽にお出でください。

■問合先 健康福祉課へ

小国町ホームヘルパー 資格取得支援事業のお知らせ

【助成対象となるかた】

- ① 小国町に住所があり、現在小国町に居住しているかた
- ② 平成23年4月1日から平成24年3月31日までの間に、ホームヘルパー2級の資格を取得したかた

【助成額】

- ① 受講料の一部として、50,000円を上限に助成します。
※ただし、他の制度による助成金を受給した場合は、その助成額を除いた額となります。

【申請の方法】

ホームヘルパー資格取得後、すみやかに健康福祉課窓口申請してください。

【申請に必要なもの】

- 受講修了証の写し
- 受講料領収書の写し ○印かん
- 振込先の口座番号を確認できるもの

■問合先 健康福祉課へ

小国町住宅リフォーム総合支援事業

■補助要件

- ①補強(耐震)・省エネ・バリアフリー・県産木材のいずれか一つ以上を含む工事で、かつ町の定める基準点を満たすこと。
- ②町内に住所を有する者で、自己が町内に所有し居住する住宅又はそれに付属する建築物等にかかる工事であること。
- ③所有者との請負契約により、町内に所在地を有する事業者が施行すること。
- ④工事に要する費用が30万円以上であること。
- ⑤着工の1ヵ月前までに交付申請し、平成24年2月末日までに工事の完了報告書を提出できるかた。

■補助金額

工事に要する費用の10分の2の額と、40万円のいずれか低い額。
※住宅1戸に対して、1回に限って交付します。

■その他 詳しい補助要件、申請様式等については、お問合せください。

■問合先 地域整備課建設管理室

戸籍のまど

誕生おめでとございます。

緑 町 木 村 萌 里 (雅 宣 恵)
 兵 庫 館 安 部 陽 茉 里 (治 樹 綾)
 岩 井 沢 佐 貝 綾 里 紗 (欣 彦 美 奈)
 岩 井 沢 佐 野 真 菜 佳 (徹 麻 美)

結婚おめでとございます。

(山 形 市 後 藤 駿 平
 (松 崎 仁 科 茜
 (飯 豊 町 長 谷 川 史 弥
 (岩 井 沢 伊 藤 絵 美
 (古 田 安 達 広 明
 (米 沢 市 長 ゆ り え

おくやみ申し上げます。

沼 沢 井 上 の ゐ (103)
 東 原 渡 邊 清 (102)
 小 国 町 丹 美 哉 子 (70)
 北 佐 藤 秀 一 (52)
 叶 水 伊 藤 稔 (102)
 尻 無 沢 須 貝 吉 次 (91)
 あ け ぼ の 伊 藤 か る (85)
 沼 沢 福 岡 行 雄 (86)
 小国小坂町 坂 野 マ ツ (83)

人口のうごき

人 口 男 … 4,367人 (-35)
 女 … 4,614人 (-27)
 計 … 8,981人 (-62)
 世 帯 数 3,222世帯 (-22)

平成 23 年 3 月 31 日現在

伝えよう! 広めよう!

シリーズ 13

おぐにの食文化

Oguni Slow Food Recipes



フキノトウのみそあえ

材 料

フキノトウ……200g みそ……………大さじ 4
 酒……………少々

作 り 方

- ① フキノトウの花の部分(中心部)を取る。
- ② 煮だっているお湯に、塩を少々入れ、①を2～3分ゆでる。
- ③ ②をすぐに冷たい水に入れ、水分を絞り、細かく切る。
- ④ ③をみそと酒であえる。

伝承者 舟山 ケサ子さん(若山)

フキノトウは、このほかにも、酢みそや、酒のもろみであえるなど、昔から様々な料理法で食べられてきました。また、沢の近くに生えるフキノトウは、茎がやわらかく、それを塩漬けにして食べることもできます。自然と共に培われてきた食文化を、若い人たちにも伝えていきたいと思います。



編集後記

日に日に春らしくなってきました。道端にはフキノトウが、そしてブナの木々からは新芽が顔を出し、窓の外の景色は鮮やかさを増してきています。

広報おぐにには、前年度に引き続き、加藤が担当します。本年度の新しいシリーズとして、11ページに、仕事やサークル活動などに対して意欲的に取り組んでいる若者をピックアップした「笑顔キラリ」を掲載していくことにしました。

みなさんからのネタ・情報もお待ちしております。(加藤)